

ふるさと歴史散歩 257

～松前史談会レポート～

浮島神社を訪ねる I

藩政時代、松山藩の命により松前の「おたた」と東温市の神社で執り行われたという「御面雨乞い」の地を訪ねた。

この神事は、大旱魃に際し、松山藩十郡の代官が協議して実施されたという。



三神御面

神事は、東温市牛渕の浮嶋神社と同市野田の徳威三嶋宮で2夜3日の祭典を行って降雨を祈り、4日目の辰の刻（午前8時）、両神社の御神体である「三神御面」の神面を奉じて松前へ向かう。このとき代官、村役人、社人ほか百数十人が行列を作ってお供したという。松前の浜で神面を仮宮に安置し、潮水を汲んで、2夜3日の祭祀。6日目に数十人のおたたも加わり、「御本城御用」の赤絹のぼりを先頭に、神面と松前の海で桶に汲んだ潮水をおたたが頭にいただき奉持して東温市河之

内の雨瀧のほとりにある雨瀧三嶋宮に向かう。雨瀧で滝壺の水面に神面の姿を映す「御面映し」の神事を執り行い、おたたが奉持した潮水を瀧に投じて降雨を祈願し、再び行列を整えて神社に帰り、翌午の刻（正午）にすべての行事が終了したという。

今回は、この神事に関係の神社のうち、浮嶋神社を訪ねた。

県道森松重信線（県道 209 号線）を東に向かい、東温市牛渕に入ると、道路の南側に、道路に面して鎮守の森が見えてくる。これが浮嶋神社である。

かつてこの地は重信川の氾濫原で、増水の度に周辺が浸水した。その際神社のある場所だけが水面上に浮かぶ島のように見えたことから、「浮嶋」と名付けられたという。次号に続く。（徳香 記）



名付けられたという。次号に続く。（徳香 記）

10月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会（鷺野） ☎ 080-5666-5439

community learning center 公民館 だより

北公民館

毎月順番に活動内容をお届け！

「ポスター作り教室」開催



1_1日目 下書き思案中
2_2日目 先生の最終チェック！



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

東公民館で以前から行われている「夏休みの宿題のポスター作り教室」を7月29日、30日に北公民館でも開催し、岡田小学校の児童49人が参加しました。

教室では、大西恭子先生が子どもたちの絵を褒めながら、より良いポスターに仕上げていくために構図や色の塗り方を丁寧に指導。ボランティアで参加してくれた岡田中学校美術部の生徒も先生のサポートをしながら児童と交流をしていました。

自分たちの柔軟なアイデアに先生の指導が加わり、子どもたちは次々と力作を完成させ、充実した笑顔を見せてくれました。

今後も子どもたちの学びを応援する企画を提供していきます。どうぞお楽しみに！

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140 FAX 985-1386
◆10月の休館 30日（金）
ホームページはこちら▶

おはなしフェス
24日④・25日⑧
10時～15時
図書館内
おはなしのへや

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶海月の骨
朝宮夕・著
講談社



異臭を放つ孤独死の現場を清掃し、遺された物を処分する特殊遺品整理課。現場を担う水生と鳴海は、誰にも看取られず逝った他人の人生に思いを馳せるうちに、自身の孤独な「今」をも変えていく

▶アルゴリズム
の査証
海堂尊・著
宝島社



「チーム・パチスタの栄光」シリーズ 20周年の最新作。研修先の病院をアルゴリズムで決定する臨床研修マッチング制度。鳴り物入りで始まった新初期研修プログラムだが…

▶少年 ABC
の完璧な選択
結城真一郎・著
新潮社



中2の夏。俺達は幼馴染の乃愛を救うため、虐待を行う母親を殺害し、無罪放免を勝ち取った…はずだった。法を欺く完全犯罪と戦慄の劇場型犯罪が交差する、ノンストップミステリ！



▶江戸時代流行大全
堀口葉純・著
淡交社

オシャレにグルメにホビーまで。流行に敏感だった江戸時代の人々の“ブーム”を当時の版本を用いながら紹介する。流行に弱いのは今も昔も一緒！江戸っ子が夢中になった流行からみる江戸の文化史



▶AI時代に自分の頭で考える？
池上彰・著
Gakken

考える前からAIに答えを求める機会が増え、自身で考え、判断する過程が失われつつある。インターネットが普及した時と同様、AIのない世界には戻れない今、人間にしかできないことは何かを考える



▶おとどのどうくつへ
うちむたかし・作文
文溪堂

だれかが「ここにしかない音」を探しに洞窟までやってきたみたい。にぎやかな街からはるばる音を探しにきた理由とは。「きみはどこから来たの？」洞窟からの問いかけで進んでいく、ユニークな絵本